

# 廃棄物資源循環学会学会誌記事要領

編集委員会

平成22年2月2日 改定

## 1. 総 則

- 1.1 「廃棄物資源循環学会誌」(以下学会誌と呼ぶ)の投稿は本要領による。
- 1.2 投稿者(少なくとも1名)は本会員に限る。ただし、編集委員会が承認または依頼した者はこの限りではない。
- 1.3 連名で投稿する場合は、連名著者のうち、本会員の中から、投稿責任者を一人定めることとする。投稿責任者は、原稿の査読等に関わる連絡担当者となるほか、著作権の譲渡に関して、全著者を代表して責任を負う。
- 1.4 原稿の作成にあたっては本会が定めた執筆要領に従う。
- 1.5 投稿原稿の採否は記事確認の結果に基づいて編集委員会が決定する。編集委員会は原稿について訂正を求めることがある。訂正を求められた原稿は3ヶ月以内に再投稿することとし、3ヶ月を過ぎれば新規投稿として取扱う。
- 1.6 学会誌に掲載された記事についての責任は著者が負うものとする。
- 1.7 学会誌に掲載された記事の著作権については、本学会知的財産権規程に定める。
- 1.8 学会誌の総説・特集記事等の査読について、論文誌と同様の手続きによって査読を進めることができる。

## 2 記事の分類

学会誌に掲載する記事の種類は以下のとおりとする。また、標準の刷り上がり頁数は別表に示すとおりとする。

### 2.1 総 説

廃棄物資源循環に関する特定の分野について、その研究を広く体系的に論じ、その研究の推移、展望を知る上で役立つものとする(投稿された総説については、論文誌同様の査読をするものとする)。

### 2.2 報 告

廃棄物資源循環に関する研究、調査等の報告で、会員にとって有益と思われるものとする。この記事に属するものとして研究報告、調査報告(廃棄物に関する調査、施設運転記録などの報告)、行政報告(廃棄物に関する立法、行政、財務等の報告)、技術報告(新技術、新システムに関する報告)が含まれる。

### 2.3 特 集 記 事

廃棄物資源循環に関するトピックスを基本にし、会員のみならず学会外の幅広い関係者にも有益な情報となるテーマについての依頼記事とする(査読付きの場合もある)。

### 2.4 解 説

廃棄物資源循環に関する技術、システム、今日の問題等の新しい事項、他分野との境界的問題などを一般に理解しやすく解説したものとする。

### 2.5 討 議

学会誌に掲載された記事に関する意見、誌上討論などの記事。

### 2.6 その他

読書欄(記者の意見、感想の他、本会に関する意見など)、書評、学協会・研究所紹介、国際会議報告など会員に有益とみなされる記事。

## 3 原稿の提出

- 3.1 原稿の送付票は本会規定のものを用い、所定の事項を記入する。
- 3.2 不備のない原稿が本会編集事務局に到着した日をもって受付日とする。修正を求められた原稿が指定期間内に修正されない場合には、最初の受付日は無効となる。
- 3.3 掲載が決定した記事は初校のみ著者に送付する。速やかに校正し指定の期日までに返送するものとする。なお、校正時における文章や図表の追加、変更は原則として認めない。

4 掲載料ならびに別刷料

投稿記事の学会誌への掲載料（別刷 50 部を含む）は別表のとおりとする。追加の別刷を希望する場合は 50 部単位で著者校正時に申込むものとする。

5 投稿原稿の受付

投稿原稿は、

下記の送付書類を宅配便または、簡易書留郵便等で編集委員会宛に提出する。なお、原稿は返却しない。

送付原稿

- ① 原稿送付票 1 部
- ② 正原稿（和文要旨、本文、英文要旨、図表タイトル一覧、図表）1 部
- ③ 正原稿のコピー 2 部（\*特集記事に関しては正原稿 1 部のみ）
- ④ 電子媒体（フロッピーディスク、CD-ROM 等）

送付先

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 67-4  
廃棄物資源循環学会編集委員会  
TEL (075) 752-2554 FAX (075) 752-7994  
問い合わせ専用：E-mail edit@jsmcwm.or.jp

6 廃棄物資源循環学会誌標準頁数および掲載料

原稿種類	刷り上がり頁数	掲載料 (別刷 50 部を含む)
総説・解説・報告	6 頁以内	44,000 円
	7 頁	48,000 円
	8 頁	52,000 円
	9 頁	56,500 円
	10 頁	60,000 円
討議 その他	2 頁	なし
	1 頁	

\*別刷追加 50 部は上記の 50%引きとする